

入のほか、患者との通話を自動でテキスト化するシステムも導入するなどして業務効率の向上を図りたい考えだ。

保健所のデジタル化視察

都知事「効率性、確実性を確保」

東京都の小池百合子知事は16日、多摩小平保健所（小平市）を訪れウェアラブル端末を使った保健所業務のデジタル化支援事業を視察した。視察後に記者団の取材に応じた小池氏は「デジタル化をさらに進め、保健所職員の（業務の）効率性、

確実性を確保していきたい」と話した。

都は新型コロナウイルスに感染した自宅療養者の血中酸素飽和度をウェアラブル端末で測定して、オンラインで健康状態を把握するモデル事業を多摩地域の2つの保健

所に2022年1月以降に始めようとしている。事業開始に先立ち、担当者が小池氏に事業概要や使用する端末を紹介した。

感染第5波では感染者の急増で保健所業務が逼迫し、自宅療養者の健康観察が滞るなどした。都はウェアラブル端末の導

入のほか、患者との通話を自動でテキスト化するシステムも導入するなどして業務効率の向上を図りたい考えだ。